

# 認定こども園はやし幼稚園

## 認定こども園第三者評価結果報告書

報告内容	公表／非公表	ページ
運営法人情報	公表	P1
理念・基本方針		
施設の特徴的な取り組み		
第三者評価結果の総評		P2
第三者評価結果		P3～15
第三者評価確認書類リスト	非公表	P16～P17
公開保育への取り組みの様子（写真）	非公表	P18～P20
第三者評価結果（詳細）	非公表	P21～P42

(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

【運営法人情報】

施設名称	学校法人緑ヶ丘学園 認定こども園はやし幼稚園
運営法人名称	学校法人緑ヶ丘学園
施設種別	幼稚園型認定こども園
代表者氏名	理事長 難波有三
施設所在地	神奈川県厚木市林2丁目13号41番
電話番号	046-223-0710
FAX番号	046-223-1124
ホームページアドレス	www.hayashi-kids.net
メールアドレス	contact@hayashi-kids.net
事業開始年月日	1978年4月1日
教職員・従業員数	教諭19名兼務教諭5名教育補助員5名事務職員1名その他3名
施設・設備の概要	建物面積1092㎡(木造、鉄骨)土地面積3104㎡

【理念・基本方針】

「心豊かにたくましく」を教育目標に掲げ、園生活の核である遊びを通して、子ども達は自然やもの、人との関わり方などの体験を積み上げながら健やかなこころと身体を育む。個々の子どもの興味・関心を深めることで、子ども自らが考え、行動し、学ぶ喜びを育てる。その過程で、粘り強い集中力や仲間と関わり合う協同的な力を子ども同士の育ち合いの中で育み、社会性の芽生えと共に【自由と規律】の価値観を育むことを目指す。

【施設の特徴的な取り組み】

地域の恵まれた自然、教育環境を生かし、自然と関わる事、生き物の飼育、作物の栽培を保育に取り入れている。その経験から仲間と共に驚きや不思議さ、感動する気持ちを共有し、知的好奇心を高め合い、学び合う経験を大切にしている。さらに、日常の遊びや当番活動などの実体験から生まれる描画や製作、ごっこ遊び、創作劇など様々な表現活動が豊かに展開できるように環境を整え、子ども達が、それらに主体的に取り組めるように行事や保育活動を展開し、個性豊かな感性の育成を目指す。

質の高い絵本や昔話、わらべうたを日常の保育に取り入れる事で、健全な社会性の育成に通じる倫理観や道徳観、人や生活との調和を図る気持ちを育てる。

幼児教育に対する方向性と価値観を教師間で共有し、学び合うことを大切にしている。

【評価機関情報】

評価機関名	(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
評価実施期間	平成29年1月20日
評価者	(教育保育評価委員) H28A00413 (運営管理評価委員) H28B00413
公開保育コーディネーター・支援者	認定第H26-020号

## 【総評】

### ●総合評価

評価〔A〕

「こころゆたかに たくましく」を園目標にして「遊び」を通じた「学び」の確立を保育の中心に置いて、教職員が幼児教育の本質を目指して取り組んでいる様子が、確かな保育実践とその結果としての園児自身の育ちとして見て取れる。

遊びへの集中と、友達との協同。幼児自身が園生活の主体者として、楽しみながら自覚をもって取り組んでいる。

この保育の実現のために、教員自身が「教える者は学べ」という学園理念のもとで研鑽をしていることから作り出される「ひと・もの・こと」の環境構成がなされ園全体として調和がとれた園である。

### ●特に評価が高い点、園の良さ等

幼児教育の実践については、子どもの主体性の尊重に基づく実践と振り返りが園の取り組みとして確立されている。園内研修の充実により、教員の資質向上を図ると共に、経営および教育理念の共有化が深められている。

### ●課題、改善を求められる点

キャリアアップの記載など就業規則の更新がなされるとよい。虐待マニュアルやけがの記録等について、記録がそれぞれ独立した書類になっているので、さらにPDCAが分かるような工夫がなされるとよい。

### ●第三者評価結果に対する法人・施設のコメント

公開保育に対しての心構えは、「日常の保育」という意識で、自分たちの保育を検証し学べる貴重な機会とし、取り組んだ。第三者評価は、当日までに追加書類を準備する期間が短く、不備がないかと懸念していたが、評価者の先生方の学校運営並びに教育内容に対する専門的な見解の下、膨大な資料を効率よく検認して頂けた。学園としても許認可を頂いた当初を思い起こし、新たな気持ちで臨めたことが大変貴重な経験となった。また、評価後の姿勢として、それに値するだけの保育として、更に意識を持って取り組まねばならない、と助言を頂き、今後も真摯に受け止めていきたい。評価者の先生方の高い見識に学ぶところも多く、今後の園の教育並びに運営において、より一層の向上を目指すための指針として参考にさせて頂けたことに感謝したい。

## 第三者評価結果

### I 保育の公開に伴う保育のプロセス評価

#### 1. 事前訪問時に抽出された自覚的な良さや課題

事前訪問時の園の良さや課題を整理するワークにおいて抽出された、園の良さとして以下の項目が挙げられた。

- ・日常的に保育者間での対話が密で、風通しの良い関係性、対話をする文化が築かれている。

- ・子どもに寄り添い、思いを大切にしている。

課題としては以下の点が挙げられた。

- ・子ども主体の保育を展開する中で、子どもの興味関心に寄り添いながらの援助と見守りのバランス。

- ・子どもの姿や保育、環境を充実させるための話し合いの時間を作り出すこと。

- ・保護者との連携と、発信力について。

#### 2. ①公開保育実施時の課題等

事前ワークを通して、はやし幼稚園として課題と感じている、考えていることを問いの形式にして公開保育参加者に伝えていこうと取り組んでは来たが、子どもの姿が変わっていくこと、その時に見られる子どもの姿を通して問いの設定を考えたいと話があったため、大枠での問い設定ではなく、クラスに応じた問い設定となった。クラスでの問いを平均化、簡略化すると、以下の点が大きく打ち出されることになった。

- ・子ども主体の保育を展開する中での、保育者の関わり、援助、支援について。

- ・年齢やあそびを捉えた環境設定について。

#### ②公開保育後のカンファレンスにおける外部のから見た良さや課題

公開保育後のカンファレンスにおける外部からの見た園の良さとして以下の項目が挙げられた。

- ・自由と規律

- ・個を大切にされている

- ・保育者の資質と感性が育っている

- ・子どもの主体性を育むための環境設定と室内遊具（おもちゃ）の選定、教材研究

- ・理事長（姉妹園の園長）、園長、副園長、学年リーダーのリーダーシップやフォロー体制

又、課題としては以下の点が挙げられた。

- ・その子らしさを受け止めつつ、どのように個々を支えるか。
- ・あそびの読み取り、理屈化、理論化
- ・室内・戸外、主体的に生活する子どもたちの把握

### 3. 事後の園内研修において整理された良さや課題ならびに課題解決の方策

公開保育後のカンファレンスで出された様々な意見やアドバイスを元に、事後の園内研修を実施。以下の項目が話し合いの中であがった。

- ・雑談※の質向上（ただ話をするだけでなく、写真などを用いて、より具体的な雑談）による、一層の子ども理解

※園内でインフォーマルに行われる子どもや保育の情報交換のこと

- ・連携と伝え合い
- ・当たり前で過ごしてきたことに疑問を持ち、振り返り、意味等を考える
- ・今ある環境に甘えず、今ある環境をどう生かし、子どもの生活や育ちに繋がられるかを考える
- ・保護者との連携の充実

## Ⅱ. ヒアリング等・書面等による評価

### < A 教育・保育 >

#### ① 子どもの人権、安全と健康

	調査項目	確認結果
1	一人一人の子どもの家庭環境や人種、文化等の違いを知り、異なる意見や価値観を認めあう心を育てよう努めている。	済・未
2	子どもや保護者、同僚を傷つけるような差別的な言葉や態度をしていない。	済・未
3	身体、性、年齢、発達の差等、生来的な差によって子どもに不当な不利益を与えるような言動やシステムがない。	済・未
4	園庭の環境（空間と遊具）や室内の環境（家具や動線）の安全性を、保育の中で注意・改善する視点がある。	済・未
5	子どもの成長や食べる意欲が大事にされた食育（食べることの全ての営み）がなされている。	済・未
6	園生活に必要な一つ一つの生活習慣が、先生と子どもに、共に大切に扱われている。	済・未
7	全ての子どもが「いる」だけで認められる、心理的な安全・安心が子ども集団（学級）のなかにある。	済・未
8	園生活の中で、大切にしたい信心（特定の宗教を含む）が自然と保育に融けこみ、子どもたちに愛情や感謝の気持ちが育っている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>子ども自身を尊重していることが保育全体を通して感じられる。具体的には、障害の有無にかかわらず皆が落ち着いていて、自分の課題に向かって取り組んでいる。質の高い保育の実現のために、教師の研修の充実や吟味された教材や教具、園舎園庭環境が整備されている。</p>		

## ②保育者の資質向上・研修

	調査項目	確認結果
1	豊かな人間性を備えた保育者になることを、園として大切に考え支援している。	済・未
2	保育者の資質向上のためには、遊びと生活の専門性を高めることが必要であるという共通理解のもとに、教育・保育が行われている。	済・未
3	自園の教育・保育理念を十分に理解し、日々の実践に活かしている。	済・未
4	公開保育を通して、教育・保育の質を高める取組ができています。	済・未
5	職場における同僚性の向上を意識し、保育者集団としての力量を高めようとしている。	済・未
6	教職員一人一人が社会人としての自覚をもち、その役割を果たすことができるように、組織的な取組をしている。	済・未
7	子どもと関わることを喜び、子どもの遊びが豊かに展開されるような教育・保育をしている。	済・未
8	教職員一人一人が向上心を持って、研修など様々な学びの機会を得ようとする風土が園としてできている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>園の教職員がチームとして機能している。日常の保育においても保育者同士の連携がしっかりとされている。また、組織としても責任あるマネジメントがなされている。</p>		

### ③子ども理解・指導の計画等・環境・実践・記録振り返り

#### 1) 子ども理解

	調査項目	確認結果
1	乳幼児期の発達の過程を踏まえながら、一人一人の子どもの内面的な心情や意欲をくみ取り、様々な力を培っている姿を教職員全体が理解しようとする風土を持っている。	①済・未
2	子どもの姿や育ち、実践について様々な手法（日誌、環境図、エピソード、写真、動画等）を用いて記録し、一人一人の子ども理解に努めている。	①済・未
3	子どもの記録を園内での振り返りや園内研修等に活用し、子ども理解の共有を教職員間で図り、必要な援助を考え環境の構成を見直すなど、保育の計画に活用している。	①済・未
4	遊びや活動の意味についてそれが子どもの成長とどう関連しているのか？記録を通じて理解し、実践に繋げようとしている。	①済・未
5	園での子どもの育ちを保護者と共有しようと心掛け、家庭環境や家庭での育ちの状況も考慮しながら、子ども理解の幅を広げようと努めている。	①済・未
6	特別な配慮を必要とする子ども一人一人の理解に努め、その子に応じた個別の指導計画を作成し、必要な援助を組織的、計画的に実践につなげている。	①済・未
7	特別な配慮を必要とする子どもの家庭や専門機関、小学校等とも連携しながら、家庭支援や引継ぎ等における特別支援教育の幅広い環境整備を心掛け、多面的なアプローチで子ども理解を図っている。	①済・未
<p>(コメント)</p> <p>保育実践が記録による振り返りや打ち合せによってなされている。また、園内研修へ情報の共有への取り組みも積極的である。特別な配慮が必要な子供についても安定した生活と子供同士での学び合いが保障されている。</p>		

## 2) 教育・保育の計画

	調査項目	確認結果
1	幼稚園ないし幼保連携型認定こども園の全体的な計画における教育課程と指導計画は、子どもの発達の姿から、自園の教育・保育理念と、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に即して作成している。	済・未
2	子どもの発達の過程や発達の連続性を見据え、各園の教育・保育の理念や目標に基づいた保育計画によって実践を展開するために月案や週案等を作成して、実践につなげている。	済・未
3	日々の実践を振り返り評価し、明日の実践に反映し、教育・保育の質が向上するように計画を見直している。	済・未
4	個別に対応する必要がある場合については、個別の指導計画を作成している。	済・未
5	保護者の理解と支援の下に実践ができるように幼稚園ないし幼保連携型認定こども園の全体的な計画における教育課程は、保護者等に開示されている。	済・未
6	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解が深まる仕組みがある。	済・未
7	計画は実践につながりながら、気候やその日の子どもの状態等に即して柔軟な対応がなされている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>教育課程と指導計画は、保育実践からの振り返りや打ち合わせによって修正され向上がはかられている。</p> <p>日常的に教職員同士が子供の育ちを語り合うことの大切さが共有され尊重されている。</p>		

### 3) 環境の構成

	調査項目	確認結果
1	<園舎等の空間>子どもたちが遊び込むことができる時間の配慮、自由な遊びコーナーなど、子どもの自主性・自発性を尊重すると共に、子ども同士の関わりや遊びが豊かに行われる空間環境が工夫されている。	済・未
2	<遊具・家具・絵本・廃材などについて>子どもの成長に合わせた遊具や絵本が、子どもの手の届く場所に適切な量で用意され、子どもが自由に選び、興味をもって関わり、考えたり、試したりして工夫して遊びを展開できるよう配慮されている。	済・未
3	<園庭について>外気に触れ、自然を感じ、興味を持って自ら移動、探索する楽しさを存分に味わい、体を動かす楽しさを味わうことができ、かつ、子どもが安心して遊べる安全面に配慮された園庭等が確保されている。	済・未
4	<動植物の飼育、栽培について>身近な動植物に親しみを持って接し、飼育や栽培を経験することで生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする環境が確保されている。	済・未
5	<リズム・造形等の表現活動などについて>リズム・造形等の多様な表現活動を経験でき、自ら興味を持って関わり楽しめる工夫や継続して活動できるような環境の構成がされている。	済・未
6	<数量・図形・文字標識などの環境について>数量や図形、文字や標識に自然に触れ合えるような環境が工夫されている。	済・未
7	<衛生管理について>施設内の清掃が行き届いており、保育室・トイレ等の清潔が保たれ、子どもたちが使用する備品類の消毒が行われている。また、自分の健康に関心が持てる工夫や、病気予防のための配慮がされている。	済・未
8	<メンテナンスについて>手洗い場や机・椅子等、子どもの身体にあった大きさを整えられ修繕されている。	済・未

(コメント)

やぎや羊などの動物や生き物の飼育についても園児の役割と責任とによって行われている。園全体の環境は教育の視点から子ども自身の実態を踏まえると共に計画的に整えられている。配置されている教具の質も高い。

#### 4) 実践

	調査項目	確認結果
1	<p>乳幼児期にふさわしい生活が展開されている。</p> <p>(1)子どもが保育者を信頼し、自分が受け入れられ見守られているという安心感を持って生活できるような配慮をしている。</p> <p>(2)興味や関心に基づいた直接的、具体的な体験の積み重ねを大切にした教育・保育が行われている。</p> <p>(3)子どもが友達と十分にかかわって生活できるような配慮をしている。</p> <p>(4)子どもの発達の過程に応じて、適切な運動と休息をとることができるようにしている。</p> <p>(5)在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。</p>	済・未
2	<p>子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している。</p> <p>(1)子どもが主体的に、遊び込める時間と空間を保障している。</p> <p>(2)子どもが自分の目的を持って、考えたり、試したり、工夫したりする過程を大切にしている。</p> <p>(3)子どもの主体的な活動を促すために、保育者が多様な関わりを持ち、様々な役割を果たすように努めている。</p> <p>(4)子どもが周囲の自然に親しみをもち、それらを生活や遊びに取り入れたり、生命を大切にする気持ちが養われたりするような援助をしている。</p> <p>(5)子どもの発達の過程に応じて、協同して遊ぶ活動を取り入れ、友達同士が互いの存在を認め合い、一緒に遊ぶ楽しさや喜びが味わえるような援助をしている。</p>	済・未
3	<p>遊びを通した総合的な指導を行っている。</p> <p>(1)子どもが主体的に環境にかかわって遊びを展開する中で、心身の発達にとって必要な経験が相互に関わりながら積み重ねられている。</p> <p>(2)子どもが発達していく姿を様々な側面から総合的に捉え、指導している。</p>	済・未

4	<p>子ども一人一人の特性や発達のプロセスに応じた指導をしている。</p> <p>(1)子ども一人一人の発達のプロセスや生活環境等を把握し、その子の発達の特性や発達の課題を理解して指導をしている。</p> <p>(2)子どもが主体的に周囲の人や物に働きかけることができるよう、環境の構成を工夫している。</p> <p>(3)子ども一人一人が自分の思いや考えを出していく中で、互いの違いを認め合い、尊重し合う心が育つような援助をしている。</p> <p>(4)特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の教育・保育に当たっては、ほかの子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している。</p>	済・未
5	<p>行事等を通して、園生活に変化や潤いを与えられるよう工夫している。</p> <p>(1)季節の行事や誕生会等を通して、子どもが季節感や文化などを体感できるようにしている。</p> <p>(2)子どもが行事に期待感を持ち、主体的に取り組んで、喜びや感動、達成感が味わえるような配慮をしている。</p> <p>(3)園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加したりする等、子どもが地域の人々と交流し、社会に対する興味や関心を持つような機会を作っている。</p>	済・未
<p>(コメント)</p> <p>子ども自身の主体性を尊重した保育環境と援助が行われている。園児が集中して個々の活動に取り組んでいる。保育は生活に根ざしていて、クラスの一日においても皆と協力し合いながら、落ち着いて過ごしている。保育の見学を通して、遊びが学びにつながっていることを確認した。</p>		

#### 5) 記録・振り返り

	調査項目	確認結果
1	<p>個人の記録や集団の記録、エピソード記録等、子どもの状態と園の方針や仕組み等の状況に応じて、必要な記録を適切に行っている。</p>	済・未
2	<p>記録を客観的に振り返ったり、保育者間で話し合ったりして、次の教育・保育の計画に活かしている。</p>	済・未
3	<p>適宜、保育者間のカンファレンスが行われ、実践の振り返りと適切な評価の機会がある。</p>	済・未

4	情報共有ができる同僚性の豊かな保育者集団の中で、園としての評価結果の共有や課題発見が行われ、計画・実践に適切に反映されている。	済・未
5	園内で共有された子どもの育ちや実践の過程、または評価結果について、保護者や地域社会等の園外に向けて適切に発信し、共有していく努力をしている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>保育を支える取り組みが職員会議や書類によって裏付けられている。また、さらに質を高めるようとする意識は園長のみならず教職員全体に浸透していることを確認した。</p>		

### ⑤家庭・地域連携

	調査項目	確認結果
1	小学校教育との円滑な接続のために教育・保育の内容を工夫している。	済・未
2	子どもの成長発達について保護者との連携を行い、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている。	済・未
3	自己評価・関係者評価に取り組み、その結果を保護者や地域に伝える等、園全体で教育・保育の質の向上のために改善がなされるよう手立てを行っている。	済・未
4	子育て親育ちの場として、地域における子育ての支援に関するセンター的役割を果たしている。	済・未
5	教育時間終了後等に行われる保育は、子どもの生活にふさわしい指導計画の下に行っている。	済・未
6	地域の資源を積極的に活用し子どもが豊かな生活体験を得ることができるような機会を設けている。	済・未

(コメント)

子育て支援事業に力を入れており、地域の教育センターとして子育てを応援するとともに地域にも開かれた取り組みを確認した。また、幼小接続のために園を公開した取り組みや協議会を率先して実施し、地域の幼児教育のリーダー的な役割を果たしている。

#### 公開保育コーディネーターからの報告

はやし幼稚園では、長年にわたり建学の精神、教育目標・指導計画等は、幼稚園教育要領との整合性が適切にとられた保育を行ってきており、公開保育当日においてもその普段通りの保育が展開されていた。また、建学の精神にも掲げている「教えるものは学べ」という言葉通り、保育者の資質向上に努められている、保育者の資質の高さを感じられる園だった。

STEP1～STEP5までのプロセスにおいては、チームワークの良さ（同僚性の高さ）を自他共に確認することができ、存分に発揮されていた。

また、自園の取り組みを肯定的に認め、理解を進め、実践されている中で、はやし幼稚園で長年勤められている先生、一度現場を離れて戻って来られた先生、他園を経験してきた先生など、幅広い経験を持った先生が多いため、多様な切り口から自園の実践を振り返ることができたり、多様な意見が認め合えたりする関係性が組織として築けていると感じた。

今回の公開保育の一連を通して、良さを再確認し、子どもたちにとってより良い保育実践と保護者との連携（発信力）への意識、就労体制の振り返りにより、また新たな高い意識を持って取り組んでいこうとしている。

## Ⅱ. ヒアリング等・書面等による評価

### < B 運営 >

#### ①運営体制

	調査項目	確認結果	確認・評価視点等
1	教育・保育に対する理念や方針が明確である。	済・未	
2	コンプライアンスを遵守し、管理体制を構築している。	済・未	
3	会計事務を適切に行っている。	済・未	
4	人材確保や継続して勤務できる職場環境である。	済・未	
5	教育及び保育の質を向上させるための運営体制が整備されている。	済・未	
6	適切な教育環境を維持するために必要な財源が確保されている。	済・未	
7	学校評価を実施している。	済・未	
8	適正な法人運営を行っている。	済・未	
<p>(コメント)</p> <p>経営方針ならびに教育方針を、教職員はじめ保護者に周知徹底している。人材確保の取り組みでは、有資格保護者の活用など積極的に取り組む姿勢が見える。関係書類がきちんと整備され、適切な法人運営が行われている。</p>			

## ②安全管理

	調査項目	確認結果	確認・評価視点等
1	自然災害や事故等を想定した危機管理マニュアルを策定し、訓練を実施している。	済・未	
2	教育・保育における危機管理マニュアルを定期的に見直している。	済・未	
3	園舎、遊具及び車両の安全点検や環境のチェックを定期的に行い、必要に応じ改善を行っている。	済・未	
4	園児の衛生・健康管理に努めている。	済・未	
<p>(コメント)</p> <p>子どもを第一に考えたマニュアルをもとに、教職員・関係機関ならびに保護者と連携して安全管理に努めている様子が見える。また、必要に応じてマニュアルの見直しも行っている。</p>			

## ③子育ての支援

	調査項目	確認結果	確認・評価視点等
1	学び発達の連続性を確保するために、小学校と連携をはかり、地域の関係機関や団体と交流し連携をはかっている。	済・未	
2	園児の成長を通じて、保護者の親育ちを支援する取り組みを行っている。	済・未	
<p>(コメント)</p> <p>年数回の小学校授業参観や中学生の職場体験など、積極的な交流をとおして園児・保護者の不安解消を図るなど子育て支援を行うと同時に、園内に保護者スペースを設け、親が互いに育ちあう場の実践にも取り組んでいる。</p>			